(エ)　送信用空中線及び測定用空中線の基準点を大地面からの表11に定める送信用空中線高及び１ｍにそれぞれ設置し、測定用空中線の高さを４ｍまで上昇させ、表12及び表13に定める周波数範囲を掃引しながら、送信用空中線から発射される電波の受信機入力電圧を測定し、その最大値V_{SITE}（μV単位）を求めること。

(オ)　測定場のサイトアッテネーションは、次の式により求める値とすること。この場合において、アンテナペア参照サイトアッテネーションは、サイトアッテネーションの測定に用いる測定用空中線及び送信用空中線と同じものを用いて、基準試験場（サイト挿入損偏差の値が、水平偏波の場合は１dB未満、垂直偏波の場合は1.5dB未満となる金属大地面を持つ試験場をいう。）において測定すること。

$$A_i = 20\log_{10}(V_{DIRECT}) + a_{ATT} - 20\log_{10}(V_{SITE}) - A_{APR}$$

A_i　：特定の周波数、空中線偏波及び空中線対の位置におけるサイトアッテネーション

a_{ATT}　：V_{DIRECT}の測定に用いて、V_{SITE}の測定に用いない減衰器の減衰量（当該減衰器を用いていない場合は０）

A_{APR}：受信用空中線及び送信用空中線の組から定まるアンテナペア参照サイトアッテネーション

(カ)　表11に定める送信用空中線高それぞれについて(エ)及び(オ)を実施すること。

(キ)　空中線偏波を変えて(エ)から(カ)までを実施すること。

(ク)　送信用空中線及び測定用空中線の位置を図７に定めるそれぞれの位置において(イ)から(キ)までを実施すること。

表12　30MHz以上160MHz以下のサイトアッテネーションの理論値

測定距離	空中線偏波	送信用空中線高（m）	測定周波数（MHz）												
			30	35	40	45	50	60	70	80	90	100	120	140	160
3	水平	1	15.8	13.4	11.3	9.4	7.8	5.0	2.8	0.9	−0.7	−2.0	−4.2	−6.0	−7.4
		2	11.0	8.8	7.0	5.5	4.2	2.2	0.6	−0.7	−1.8	−2.8	−4.4	−5.8	−6.7
	垂直	1	8.2	6.9	5.8	4.9	4.0	2.6	1.5	0.6	−0.1	−0.7	−1.5	−1.8	−1.7
		1.5	9.3	8.0	7.0	6.1	5.4	4.1	3.2	2.6	2.1	1.9	1.3	−1.5	−3.7
10	水平	1	29.8	27.1	24.9	22.9	21.1	18.0	15.5	13.3	11.4	9.7	7.0	4.8	3.1
		2	24.1	21.6	19.4	17.5	15.9	13.1	10.9	9.2	7.8	6.7	5.0	3.5	2.3
		3	21.3	18.9	16.9	15.2	13.7	11.5	9.9	8.6	7.5	6.6	4.9	3.5	2.4
		4	19.7	17.4	15.6	14.2	13.1	11.3	9.9	8.7	7.7	6.7	5.1	3.8	2.6
	垂直	1	16.7	15.4	14.2	13.2	12.3	10.7	9.4	8.3	7.3	6.4	4.9	3.7	2.6
		1.5	16.9	15.6	14.4	13.4	12.5	11.0	9.7	8.6	7.6	6.8	5.4	4.3	3.4
		2.5	17.4	16.1	15.0	14.0	13.2	11.7	10.5	9.5	8.7	8.0	7.0	6.2	4.1
		3.5	18.2	16.9	15.8	14.9	14.1	12.7	11.7	10.9	10.2	9.6	6.8	5.2	3.9
30	水平	1	47.8	45.1	42.8	40.8	38.9	35.8	33.1	30.8	28.8	27	23.9	21.2	19
		2	41.7	39.1	36.8	34.7	32.9	29.8	27.2	24.9	23.0	21.2	18.2	15.8	13.8
	垂直	1	26.0	24.7	23.5	22.5	21.6	20	18.7	17.5	16.5	15.6	14.0	12.7	11.5
		1.5	26.0	24.7	23.5	22.5	21.6	20	18.7	17.5	16.5	15.6	14.0	12.7	11.6

表13　180MHz以上１GHz以下のサイトアッテネーションの理論値

測定距離	空中線偏波	送信用空中線高（m）	測定周波数（MHz）									
			180	200	250	300	400	500	600	700	800	900	1000
3	水平	1	−8.6	−9.6	−11.7	−12.8	−14.8	−17.3	−19.1	−20.6	−21.3	−22.5	−23.5
		2	−7.2	−8.4	−10.6	−12.3	−14.9	−16.7	−18.3	−19.7	−20.8	−21.8	−22.7
	垂直	1	−1.3	−3.6	−7.7	−10.5	−14.0	−16.4	−16.3	−18.4	−20.0	−21.3	−22.4
		1.5	−5.3	−6.7	−9.1	−10.9	−12.6	−15.1	−16.9	−18.4	−19.3	−20.4	−21.4
10	水平	1	1.7	0.6	−1.6	−3.3	−5.9	−7.9	−9.5	−10.8	−12.0	−12.8	−13.8
		2	1.2	0.3	−1.7	−3.3	−5.8	−7.6	−9.3	−10.6	−11.8	−12.9	−13.8
		3	1.3	0.4	−1.6	−3.0	−5.6	−7.6	−9.2	−10.5	−11.6	−12.7	−13.6
		4	1.6	0.6	−1.2	−2.8	−5.4	−7.3	−8.9	−10.2	−11.4	−12.4	−13.6
	垂直	1	1.8	1.0	−0.5	−1.5	−4.1	−6.7	−8.7	−10.2	−11.5	−12.6	−13.6
		1.5	2.7	2.1	0.3	−1.9	−5.0	−7.2	−9.0	−10.4	−11.6	−12.7	−13.6
		2.5	2.8	1.6	−0.6	−2.4	−5.1	−7.1	−8.7	−9.9	−11.1	−12.1	−13.1
		3.5	2.8	1.7	−0.3	−1.9	−4.5	−6.3	−8.0	−9.3	−10.5	−11.5	−12.4
30	水平	1	17	15.3	11.6	8.8	4.6	1.8	0.0	−1.3	−2.5	−3.5	−4.4
		2	12.0	10.6	7.8	6.1	3.5	1.6	0.0	−1.4	−2.5	−3.5	−4.5
	垂直	1	10.5	9.6	7.7	6.2	3.9	2.1	0.8	−0.3	−1.1	−1.7	−3.5
		1.5	10.6	9.7	7.9	6.5	4.3	2.8	1.8	−0.9	−2.3	−3.4	−4.3

(2)　サイトアッテネーションの測定には、第三の八の２に定める条件を満たす30MHz以上１GHz以下の周波数範囲の電界測定に用いる空中線を用いること。ただし、測定距離３ｍで測定する場合は、ハイブリッド型の空中線を用いてはならない。